



# ふらり らいふらりい



～図書室にはこんな本があります～

No. 146

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。  
(書名の後の( )の数字は請求記号です。)

問) 学童疎開していた子どもが描いた絵日記を見たい。

答) 「学童疎開」「絵日記」をキーワードとして検索してみます。

図書 → ことば → 学童疎開 絵日記 → 5件

ヒット件数が少ないため、キーワードの「学童疎開」を「疎開」にして  
もう一度検索してみます。

図書 → ことば → 疎開 絵日記 → 12件

これでヒット件数がふえました。

この12件の中に

『学童疎開3』(372.1/H52/3) 開架書棚

『疎開の子ども600日の記録』(372.1/G16) 開架書棚

『平和のいしずえ』(372.13/To46) 閉架書棚

『B29がせめてきた』(916/I19) 開架紹介本架

『疎開絵日記』(915/U32) 開架書棚 などがああります。



※このうち『平和のいしずえ』には、書簡集として子どもから父・母へ、また父・母から子どもへ送られた葉書なども紹介されています。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

— 占領下に生まれた —

# サザエさん

著作権があるため、  
掲載できません

昭和の代表的な漫画と言えれば必ず名前が挙がる「サザエさん」。「サザエさん」は昭和21年、福岡の『夕刊フクニチ』で四コマ漫画としてスタートしました。

作者である長谷川町子さんは、愛読していた志賀直哉の『赤西蠣太』<sup>あかにしかきた</sup>に〈さざえ〉という名前の「御殿女中」が登場したことから、作者の住まいが海の近くにあったことから主人公の名前を「サザエさん」とし、家族の名も海にちなんだものから選びました。

『長谷川町子全集 第一巻』

昭和24年から49年まで、「サザエさん」は東京の朝日新聞に連載されました。アニメの「サザエさん」は昭和44年にフジテレビで放送がはじまり、今年で44年目を迎えます。

昭和21年から現在まで、消えてしまったモノや、時代の流れとともに移り変わる習慣、風俗、流行を「サザエさん」から知ることができます。

ひとつの丸いちゃぶ台を囲むサザエさん一家の暖かさと明るさはこれからもずっと親しまれていくことでしょう。

著作権があるため、  
掲載できません

『長谷川町子全集 第一巻』(726/H36/1)

## ◎「サザエさん」に関する主な書籍

「サザエさんの東京物語」(726/H36)開架書棚

「古きよきサザエさんの世界」(210.76/Sh49)閉架書庫

「庶民漫画の50年」(726/H35)閉架書庫

「長谷川町子全集 第三巻」(726/H36/3)

## — 図書室から —

当館で所蔵している昭和のベストセラー本を企画コーナーでご紹介しています。また、「昭和の紙芝居」展(平成24年3月17日～5月13日)で展示した紙芝居ファイルをご紹介します。いずれも手にとりご利用いただけます。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 146

2012年6月21日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1